

本文中に記載がないものは、原則として、対象外でも、費用は無料、申込不要(定員の記載があり申込の記載がないものも、当日、直接会場へ)。HP // ホームページ、Eメールアドレス、地区市民センター、出張所
 生涯学習センター、参 // つのみや表参道スウェーア、地域コミュニティセンター、活 // 市民活動センター、願 // 申込時に記載する基本項目は、催し名・郵便番号・住所・氏名・ふりがな・電話番号・人数。



催し

文化財めぐり
蒲生君平ゆかりの地



▽日時 6月24日(日)午前9時～午後0時30分。雨天決行。
 △コース 宇都宮城址公園

▽対象 市内在住の人。
 △定員 抽選40人。
 △申込 往復はがきの往信に参加希望者全員の右記の凡例にある④・年齢を、返信には代表者の郵便番号・住所・氏名を書き、6月12日(必着)までに、〒320-8540 市役所文化課 ☎(632) 2768へ。応募は1グループ1

通4人まで。
 お出掛けください
 議場ジャズコンサート
 ページ番号 1009205

6月定例会開会日に、議場でジャズコンサートを開催します。コンサート終了後には、会議の傍聴ができます。
 △日時 6月8日(金)午前9時20分～9時45分。議会開会は午前10時。
 △会場 市議会議場(市役所議会議棟6階)。
 △出演 野中英士カルテット。
 △定員 先着120人。
 △その他 満席の場合は立ち見になることもあります。
 ④ 議会事務局政策調査課 ☎(632) 2611

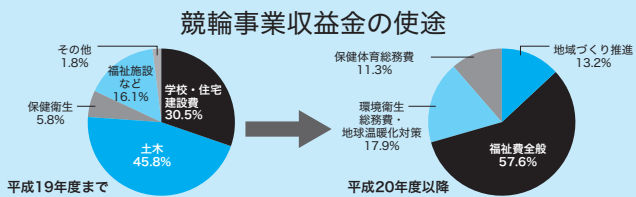
書くという行為と
うたうこと 夢にも思わなかった新しい世界へ

▽日時 7月14日(土)午後2時～3時30分。午後1時30分開場。
 △会場 南図書館(雀宮町)。
 △内容 神山奉子さん(平成27年日本自費出版文化賞特別賞受賞小説家)、宇賀地洋子さん(彫刻家)による

頑張る競輪事業 宇都宮競輪

競輪場の収益が私たちの生活に役立っていることをご存じですか。皆さんも、競輪場のさまざまな取り組みを知り、競輪事業に理解を深めてみませんか。

宇都宮競輪場は昭和25年に開設され、これまで本市の社会基盤や生活基盤の整備を支えてきました。収益金の一部は、平成19年度までは道路や学校建設など社会基盤の整備に、平成20年度以降は地域づくりの推進や福祉のなど生活基盤の整備に、これまで総額821億円を超える費用が使われています(下のグラフ)。



新たな競輪事業の取り組み

- ミッドナイト競輪 電話投票やインターネット投票に限定して、午後9時～11時30分の深夜の時間帯に無観客で開催しています。宇都宮競輪場では、平成27年9月から青森競輪場などを使用して開催していましたが、3月にナイター設備を設置し、ミッドナイト競輪を初開催しました。今後はナイター設備を活用したイベント開催など、皆さんに親しまれる競輪場を目指していきます。
- レースタイトル命名 レースタイトルを命名する協賛企業・団体、個人を募集します。協賛レースでは、企業・団体は屋号や商品名など、個人は記念日など、11文字以内でタイトルを命名することができます。

▽協賛特典 命名したタイトルの出走表・車券・テロップなどへの掲載、メインスタンド特別観覧席利用券、協賛レースを収録したDVD贈呈など。
 △申込 希望する競輪レースの開催30日前までに、協賛レース申込書(宇都宮競輪場HP utsunomiya-keirin.jpから取り出し可)に必要事項を書き、直接または送付・Eメールで、〒320-0054東戸祭1丁目2-7、公営事務所 ☎(625)0100、✉u2335@city.utsunomiya.tochigi.jpへ。

開設69周年記念 (GⅢ)
宇都宮ワンダーランドカップ争奪戦

- 日時 6月28日～7月1日、午前10時開門。
- 会場 宇都宮競輪場。
- 1 特設ステージイベント 29日=選手会栃木支部新人選手トークショーなど。30日=ジャズコンサートなど。7月1日=「U字工事」お笑いライブ、選手会栃木支部チャリティーオークションなど。
- 2 場内イベント・ファンサービス
 △KEIRINカフェ(30日、7月1日のみ) 競輪選手会栃木支部選手によるカフェ。
 △地元選手応援イベント 地元栃木の選手が出場するレースをみんなで応援。参加者には抽選で記念品をプレゼント。
 △サイクルストリート(30日、7月1日のみ) バッチャル自転車レース体験。
 △宇都宮餃子会出店 日替わりで4店舗の焼餃子が楽しめる。
 △バンク内観戦 実際のレースをバンク内から観戦。
 △縁日コーナー 的当てゲーム、おかし釣りなど。
- その他 43ページも併せてご覧ください。
 ④公営事業所 ☎(625)0100

◎16ミリ映写機技術者養成講習会 視聴覚ライブラリーの16ミリフィルム・映写機を使用する際には、この講習会修了者に交付される「16ミリ映写機技術習得証明書」が必要となります。▽日時 7月1日(日)午前10時～午後5時30分▽会場 東図書館(中今泉3丁目)▽対象 県内在住の高校生以上の人▽定員 先着20人▽申込 6月12～26日に、電話で、視聴覚ライブラリー ☎(638)5704へ。

る、お互いの創作活動に関する対談。

▽定員 先着50人。
▽申込 6月22日午前9時30分から、電話で、南図書館☎(653)7609へ。

お知らせ

オルレアン市への派遣青少年を募集

ページ番号 1007507

▽派遣期間 11月16～23日。
▽内容 ホームステイや地元青少年との交流など。
▽対象 市内に在住か通学通勤している高校生以上30歳未満(平成30年4月1日現在)で、フランス語か英語で簡単な日常会話ができる人。
▽定員 10人。
▽選考 書類・面接。
▽費用 約19万円(渡航費用、交通費など)。渡航手続き費用、海外旅行保険などの費用は含みません。10人未満の場合は、渡航費用が増額になります。
▽申込 国際交流プラザ(参5階)に置いてある申込書(市印からも取り出し可)に必要事項を書き、6月18日(必着)までに、市

内の高校に通学している人は学校を通して、それ以外の人は、直接または送付で、〒320-0026馬場通り4丁目1-1、国際交流プラザ☎(616)1567へ。
▽その他 派遣先の状況などにより、事業を変更・中止する場合があります。

飛山城写真展の作品を募集します

7月14日～9月9日にとびやま歴史体験館で展示する写真を募集します。
▽題材 飛山城史跡公園内の復元建物・草花・風景・イベント風景・史跡公園から見た富士山など。
▽規格 カラーまたは白黒の六つ切りか、A4の単写真。自宅プリンターの使用可。

▽応募資格 県内在住の人。
▽選考・賞 来館者の投票で入賞作品を決定。入賞者には賞状と副賞を贈呈。
▽申込 とびやま歴史体験館、文化課(市役所12階)、清原区(清原工業団地)に置いてある応募要項をご覧の上、作品の裏面に応募用紙を貼り、右記の凡例にあ

る。作品タイトル・コメントを書き、7月7日(必着)までに、直接または送付で、〒321-3236竹下町380-1、とびやま歴史体験館へ。1人2点まで応募可。応募作品の返却不可。
☎とびやま歴史体験館☎(667)9400

国際交流の市民活動に助成します

ページ番号 1007502

■補助事業 平成31年3月31日までに、自ら企画した企画書に基づき運営し、国際親善や国際化に寄与する内容で、次のいずれかの目的で行う事業。①姉妹・文化友好都市との友好親善交流②外国人住民の自立化支援・日本人との共生③市民のための国際理解の促進や国際協力活動。ただし、政治・宗教・営利目的や他団体から補助を受けているものを除く。
■対象団体 本市に事務所を置く団体。
■補助対象経費・助成額
▽姉妹・文化友好都市への訪問や姉妹・文化友好都市からの訪問団の受け入れ
国際親善に関わる経費など

生涯学習センターで各種催し

▽講座名・内容など 下の表の通り▽対象 市内に在住か通勤通学している成人。

講座名	日時	定員・費用	申込
1 中央(運) 金曜まなび塾	7月13日～12月14日の金曜日、午前10時～正午。全11回 8月24日午前9時～午後4時30分は館外学習	抽選70人 館外学習費など(実費)	6月8日(消印有効)までに、直接またははがき・Eメール(右記の凡例にある④・年齢・性別を明記)で、〒320-0806中央1丁目1-13、中央(運)☎(632)6331、✉u47090100@city.utsunomiya.tochigi.jpへ
2 上河内(運) ライフアップセミナー inかみかわち	7月11日～10月24日の水曜日、午後1時30分～3時。全8回 10月3日午前9時～午後4時は館外学習	抽選50人 館外学習費(実費)	6月11日(必着)までに、直接またははがき(右記の凡例にある④・年齢・性別を明記)で、〒321-0414中里町181-3、上河内(運)☎(674)3131へ
3 河内(運) (中岡本町) かがやくセミナー	7月26日～平成31年1月31日、午前10時～正午。全5回 10月25日午前9時～午後4時30分は館外学習	先着70人 保険料など(実費)	6月19日から、直接または電話で、河内(運)☎(671)3201へ

のうち、2分の1以内の額(上限14万5000円)。
▽市内での事業実施や国際協力活動に直接必要な経費のうち、2分の1以内の額(上限5万円)。
■選考 事業計画書などの書類。

■申込 国際交流プラザに置いてある申請書(市印)からも取り出し可)に必要事項を書き、8月1日(必着)までに、直接または送付で、〒320-0026馬場通り4丁目1-1、国際交流プラザ☎(616)1567へ。

◎市の最新文化財情報新資料報告会 ▽日時 6月23日(土)午後1時30分～4時30分▽会場 とびやま歴史体験館▽内容 下西原遺跡・車塚古墳群などの調査報告、新たに登録・認定となった「宇都宮大学峰が丘講堂」「野口雨情旧居」の解説など▽定員 先着50人▽申込 6月5日から、直接または電話で、とびやま歴史体験館☎(667)9400へ。

教室・講座

非認知スキルを考える講座 子どもの豊かな時間とは

▽日時 A日程 7月3・10日(火)。B日程 7月4・18日(水)。午前10時～正午。各全2回。

▽会場 市総合コミュニティセンター(明保野町)。
▽内容 「子どもとして育つということ」と題した、吉田カヨさん(元県総合教育センター幼児教育専門員)による講座。「大人の都合と子どもの生活習慣」

と題した、五十嵐市郎さん(宇都宮大学教育学部附属幼稚園副園長)による講座。
▽対象 市内に在住か通勤通学している、主に子育てをしている人。

▽定員 各抽選20人。満6カ月～未就学児の託児あり。

▽申込 6月15日(必着)までに、直接または電話、送付・ファクス・Eメール(右記の凡例にある年齢・希望の日程、託児希望の人は子どもの名前・ふりがな・年齢を明記)で、〒320-0806中央1丁目1-13、

クイズコーナーの答え

表紙裏(目次)で出題したクイズの答えを発表するよ!

問題1の答え 1 松田新田浄水場

今里町にある松田新田浄水場は北関東で一番大きい浄水場で、川の水を安心しておいしく飲むための水道水にしてみんなに送っているんだ。普段は見ることができない上下水道の施設を巡る探検ツアーもあるから、詳しくは、28ページを見てね。

問題2の答え 3 ほたるの里

今里町にある梵天の湯では、羽黒山を望める地獄露天風呂やジェットバスなどが利用でき、地域の特産物などが楽しめる物産コーナーやレストランなどもあるよ。梵天の湯がほたるの里と言われているのは、6～7月にかけて、自然環境が豊かな施設周辺でたくさんのほたるを見ることができるからなんだ。ほたるの観察会について、詳しくは、27ページを見てね。

市民芸術祭文芸部門 入賞者が決定 (敬称略)

ページ番号
1007393

■創作 △準市民芸術祭賞 中澤央(茨城県)▽奨励賞 徳永榮遥(城南1丁目)▽佳作 金子日香(築瀬4丁目)、和氣良雄(一番町)。

■随筆 △市民芸術祭賞 小林博(鹿沼市)▽準市民芸術祭賞 竹澤敬三(砥上町)▽奨励賞 古谷耀子(桜5丁目)、大泉満(横山1丁目)▽佳作 登坂美子(立伏町)、山口昭(竹下町)、鈴木あぐり(小山市)、国母仁(上籠谷町)。

■詩 △準市民芸術祭賞 くぼかわけんいち(西原2丁目)▽奨励賞 太田尾あい(立伏町)、野々市裕(茨城県)▽佳作 伊藤敏樹(立伏町)、高瀬切(東峰町)、近昌夫(西川田南2丁目)。

■短歌 △市民芸術祭賞 中村洋子(弥生2丁目)▽準市民芸術祭賞 川村玲子(大和2丁目)▽奨励賞 月井綾子(東町)、河原美恵(西川田本町)▽佳作 加藤誠子(鶴田町)、田村フミ子(白沢町)、住吉正子(白沢町)、本多カツ子(中岡本町)、本田俊雄(双葉3丁目)。

■俳句 △市民芸術祭賞 斎藤武夫(五代2丁目)▽準市民芸術祭賞 大島雅風(泉が丘7丁目)▽奨励賞 関田和子(松原2丁目)、大塚君恵(平出町)▽佳作 齋藤弘子(八幡台7丁目)、小野田秋吉(西原町)、板垣博史(大寛2丁目)、星野榮子(竹下町)、近昌夫(西川田南2丁目)、山寄仁(緑3丁目)、大島知子(滝谷町)、細井悦子(鶴田町)、神山節子(宝木町)、小林ゆき(花房2丁目)。

■川柳 △奨励賞 毛塚善市(中一の沢町)、柏村久美子(西大寛2丁目)▽佳作 竹内孝彦(中岡本町)、大樹幸恵(立伏町)、水上義明(清原台4丁目)、小池貞雄(新里町)、綾部健二(鶴田町)。

市民芸術祭実行委員会事務局(文化課内) ☎(632)2763

子どもたちに伝えたい 体験活動

人材かがやきセンター
(632)6332、FAX(632)6339、manabee@city.utsunomiya.tochigi.jp。

楽しくエクササイズ バレトン教室

(右記の凡例にある年齢を明記)で、6月29日まで
に、〒320-0806中央1丁目1-13、人材かがやきセンター
☎(632)6332、FAX(632)6339、manabee@city.utsunomiya.tochigi.jp。

▽申込 宇都宮スポーツナビ <http://www.utsunomiya-sponavi.or.jp>の応募フォームに必要事項を入力するか、往復はがきの往信に右記の凡例にある年齢を、返信に郵便番号・住所・氏名を書き、6月10日(消印有効)までに、〒321-0954元今泉5丁目6-18、市スポーツ振興財団 ☎(663)1611へ。

▽日時 7月7・14・21日。午前10時～正午。全3回。
▽会場 市役所14階会議室。21日はうつつのみや文化の森(長岡町)。
▽内容 遊び方の講義、からくりミニ絵本を作る、自然体験活動など。
▽対象 市内在住の人。
▽定員 抽選20人。
▽申込 直接または電話、送付・ファクス・Eメール

▽日時 7月3・10・17・24・31日。午後7時～8時。全5回。
▽会場 ブレックスアリーナ宇都宮(市体育館・元今泉5丁目)。
▽内容 バレエ・ヨガ・フィットネスの要素を取り入れたシェイプアップエクササイズ。

はがき1枚に付き1講座、複数名の申込み可。子ども連れの参加は不可。

◎健康を応援 スポーツ健康体力相談 △日時 7月4・11・18日、午後1時30分～3時▽会場 ブレックスアリーナ宇都宮(市体育館)▽内容 目的・体力に応じたトレーニングメニューの提供▽定員 各先着12人▽費用 500円(受講料)▽申込 6月4日午前9時から、電話で、市スポーツ振興財団 ☎(663)1611へ。

市民俳歌柳壇

俳壇 星田一草 選

◎選評 カンツォーネを聴きながらのひととき。歌もこのことながら、おぼろなる月もまた一興を成す。力強い歌声に満足している。春の夕べの森羅万象を独り占めしているのだろう。心豊かなひととき。春宵一刻値千金。桜の夜ならなおさらである。

春昼や濃きコーヒーとチョコプレート
西川田南一丁目 星野 志郎
ふきのとう二つ見つけてふふふふふ
下田原町 五十嵐由美子

田水張りまつ青な空浮かべたり
中岡本町 中沢 智子
春の昼猫の欠伸がうつりけり
花園町 小林 秀行

柳壇 荒井宗明 選

◎選評 雑魚というのは、川も選ばず川岸近くに群れている小魚である。時には、大物に対し、小物をいうことともある。その昔、明かりともし頃になると雑魚の集まる場所があった。街角の屋台、場末の縄のれん、寸格が上がるとビルの居酒屋、といったあたりだろうか。だが昭和の初期までさかのぼると、町々の酒屋の店先の縁台にも、百の曇さを晴らす人たちがいた。こうして雑魚は、曇きをエネルギーに今日を生きているのである。

封切れば百万円もあつけなし
上御田町 二木 捷
また一人来て盛り上がる縄のれん
茂原2丁目 野口 久弥

葉桜へ街日常を取り戻す
泉が丘1丁目 川里 宏
春風に乗って花粉の悪巧み
鶴田町 鈴木美美子

歌壇 安野登美子 選

◎選評 春一番の一陣の風の中に戯る子ら。傘を媒介とした一つの場面を立ち上げる。「今にも」から風と子らの行動を取りこぼさずに拾う下の句。風と子らが一對となり、一体感を感じさせる転回は見事。飛ぶがに作者は飛ばせているかも。風と戯る子らの声や表情が見えてくる。その中にすっぽり作者がいる。そんな一首である。

春一番傘を広げて燥ぐ子等
今にも飛ぶがに風と戯る
●緑2丁目 片嶋 青水

うつすらと川面に浮かぶ花筏
二重奏の如花吹雪舞ふ
下栗町 鈴木 葉子

春愁の五月の窓を開け放し
緑の空気グイと吸ひこむ
下栗町 大塚 榮子

新しきスイーツの君の細き背に
スマホは確かな明日を示すか
西2丁目 木村 治子

大空のかなしみ拭ひハンカチの
花なほ白く楚楚と微笑む
泉が丘2丁目 海野 和恵

雑魚と雑魚好きな所で跳ねている

●中今泉5丁目 丸田 守

うつのみやの ひもと 歴史を紐解く物語

第2回 古代から現代まで

大谷石がつくりつないだまち うつのみや



■大谷石との出会い 約1500年前の海底火山の噴火によって形成された



露天掘りの採石場

大谷石は、宇都宮の人々にとって昔から身近に触れることができる存在でした。この地に住む人たちは、その石質の特質を見抜き、古くから竪穴住居のカマドや横穴式石室の石材として使ってきました。また白肌を露出する石山に磨崖仏を彫り、生活の安定や人々の無事を願うようになりました。

■巨大な地下空間の出現 江戸時代以降は、大谷石を建物の屋根や壁などの建材として使用するようになり、明治時代以降には、採石産業が確立し、人車軌道や鉄道などの輸送手段の発達や採掘の機械化により、出荷量は飛躍的に増加し、宇都宮のみならず東京や横浜に大量に出荷され、近代化する

る日本の都市づくりの礎を担うようになりました。その結果、大谷資料館などで見られるような、巨大な地下空間が数多く生み出されたのです。

■掘り出した石で築いたまち 城下町・門前町として発展してきた宇都宮では、江戸時代以降、二荒山神社の石垣をはじめ、教会や寺、豪商の屋敷、民家の塀、人々の憩いの場となる庭園や花壇、道路の敷石など、さまざまな場所に大谷石が使われてきました。

このように宇都宮の人々が、加工しやすく、耐火性に優れた大谷石を変幻自在に使いこなし、「石のまち」をつくり上げてきた「大谷石文化」がこのたび、日本遺産に認定されました。

この文化を私たちはこれからも大切に守りつないでいくことが重要です。

問文化課☎(632)2764

◎俳歌柳壇 応募方法 1人に付き俳句3句、短歌3首、川柳3句以内。対象は市内在住の人で、未発表作品に限ります。はがきに、作品(漢字にはふりがなも付けて)・住所・氏名(ふりがな)・応募する壇名を書き、毎月20日(消印有効)までに、〒320-8540市役所広報広聴課へ。俳句・短歌・川柳の併記は不可。市内に在住か通学している小・中学生からも応募をお待ちしています。問広報広聴課☎(632)2028